

平成30年度 日本大学スポーツ科学部個人研究費 研究実績報告書

所属： スポーツ科学部 競技スポーツ学科

資格： 専任講師

氏名： 本道 慎吾

研究課題	陸上競技におけるトレーニング決定時に必要なバイオメカニクスの観点からの指標及び評価基準作成の試み	
報告の概要	研究目的及び研究概要	<p>図子(2012)は競技スポーツの実践現場での「評価、計画、実践、改善」といったようなトレーニングサイクルそのものを対象とした研究を進める必要性を説き、それぞれの検証現場にある個別的な知見を集約することで共通項を見出し、一般化されたトレーニングモデルの構築が行われる可能性があることを示唆している。また、上記のような検証について、近年、実際に陸上競技選手の疾走運動を対象とし、トレーニング時の動作や疾走動態の縦断的な個人内変動に焦点を当て、評価法等を模索したいくつかの事例的報告(遠藤ら、2014、梶谷ら、2016)がなされている。しかし陸上競技におけるトレーニングは多岐にわたることに加え、いまだ一部のトレーニングに焦点が当たっているに過ぎない。</p> <p>そこで本研究では、陸上競技における現場で慣習的に行われているような事例を含めたトレーニングについて、バイオメカニクスの観点から様々なトレーニング時の動作の特徴を明らかにし、目的に合わせてトレーニングの選択を行うための1指標を得ること、またその指標に対する評価の観点を明確にすることでより効率よくトレーニングを行うための基礎的な知見を得ることを目的とする。</p>
	研究成果	<p>今年度は、トレーニング種目の選定、及びその管理を行うための観点を整理を行うため、学会や研究会に参加し情報の収集を行った。また、収集した情報及びこれまでの自身の研究成果を基に、平成30年度学部連携ポスターセッションに参加し、自身の研究成果を発表しより広い研究領域の先生方から意見を頂いた。</p>
研究業績	<p>・論文および著書</p> <p>著者名・論文標題・雑誌名・査読の有無・巻・発行年・ページ数</p>	特になし。
	<p>・学会発表等</p> <p>発表者名・発表標題・学会名・発表年月日・発表場所</p>	<p>・発表者名 本道慎吾</p> <p>・発表課題 陸上競技におけるトレーニング時のバイオメカニクスの指標について</p> <p>・学会名 平成30年度 学部連携ポスターセッション</p> <p>・発表日時 平成30年7月21日</p> <p>・発表場所 日本大学会館2階大講堂</p>
	<p>・その他</p> <p>*学会・競技団体報告書など 著書名・標題・掲載誌名 発表年月・発行所 *講演会、研究会、研修会、セミナー等での講演発表 発表者・発表年月・題目名・講演会名 *社会貢献活動等</p>	特になし。